

報道関係各位

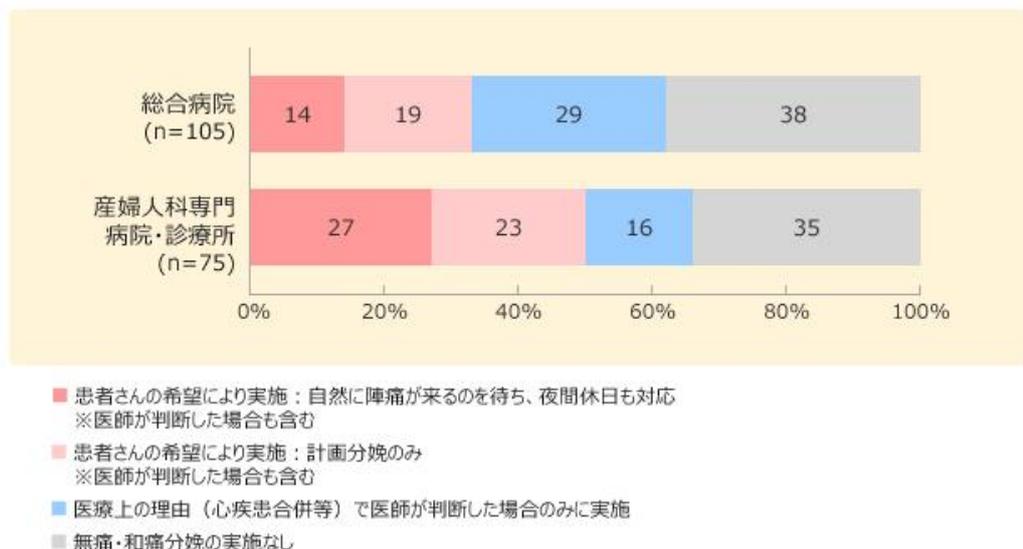
ニュースリリース
2018年5月10日
株式会社アンテリオ

専門病院／診療所では麻酔専門医による麻酔は1割未満 「無痛分娩」に関する調査 医療従事者への簡易 Web 調査「TenQuick」で調査

株式会社アンテリオ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:仁司与志矢、以下アンテリオ)は、全国の産婦人科医を対象に、「分娩時の麻酔」について簡易 Web 調査「TenQuick」で調査しました。「無痛分娩」による死傷事故への注目が集まる中、今回の調査から医療現場における麻酔の使用実態や担当医の意識などが明らかになりました。

1. 産婦人科専門病院・診療所では5割が「患者の希望により無痛・和痛分娩を実施」している

無痛・和痛分娩の実施状況 (単一回答)

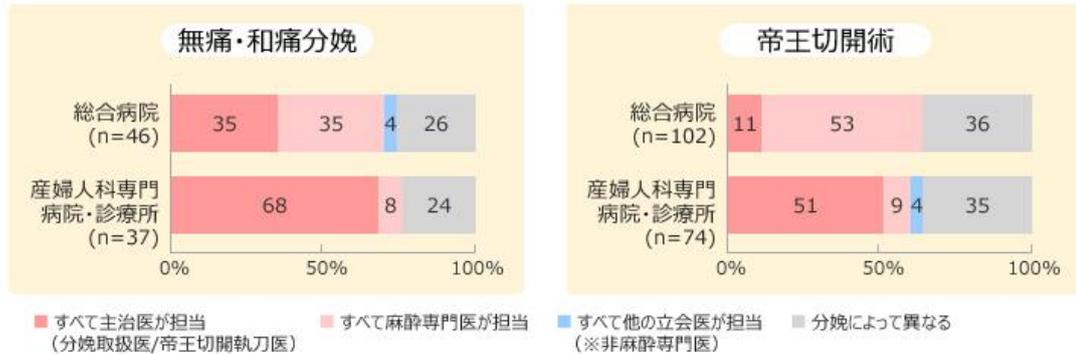


無痛・和痛分娩を実施している医療機関のうち、患者の希望により実施している割合は総合病院では3割程度であるのに対し、産婦人科専門病院・診療所では5割という回答結果になりました。

※ 和痛分娩:麻酔を使って陣痛などの痛みを和らげる分娩

2. 麻酔専門医が麻酔を担当する割合は専門病院/診療所では1割未満、7割近くが「すべて主治医が担当」

麻酔を担当する医師 [ベース：最近1ヶ月間に自身がそれぞれの分娩に立ち会った医師]
(数量回答 ※カテゴリーデータに変換)



無痛・和痛分娩時に麻酔を担当する医師について確認したところ、産婦人科専門病院・診療所で「すべて麻酔専門医が担当」しているのは8%で、7割近くが「すべて主治医が担当」していることがわかりました。

3. 理想と現実のギャップが大きい「定期的な産科麻酔の研修受講」「実施マニュアルの作成」

無痛・和痛分娩の診療体制 [ベース：施設で無痛・和痛分娩実施あり (n=114)]
(複数回答)

